

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和6年度 第3回丹波篠山市地域公共交通会議

2 開催日時

令和6年8月29日(木)10時00分から11時30分

*受付時間(9時45分から9時55分まで)

3 開催場所

丹波篠山市民センター2階 催事場1, 2

4 会議に出席した者の氏名(敬称略)

(1) 委員(19名)

大谷大学 野村 実
丹波篠山市 堀井 宏之
株式会社ウイング神姫 清瀬 真紀子
京阪京都交通株式会社 町田 和也
日本交通株式会社 田中 浩
丹波篠山市社会福祉協議会 酒井 裕美
丹波篠山市自治会長会 山田 俊朗
丹波篠山市老人クラブ連合会 森田 きみ子
丹波篠山市民生児童委員協議会 泉 より子
国際ソロプチミストささやま 上田 照代
後川郷づくり協議会 福本 法子
大芋地区有償運送事業運営協議会 藤田 邦子
神戸運輸監理部兵庫陸運部 木原 健太
株式会社ウイング神姫労働組合 石田 光
日本交通三丹地区労働組合 阪下 善博
兵庫県丹波県民局丹波土木事務所 乳原 正文
篠山警察署 篠田 敦志
一般社団法人丹波篠山市観光協会 北川 敦雄
丹波篠山市教育委員会事務局 酒井 寛興

(2) 執行機関(4名)

企画総務部 竹見 聖司
創造都市課 藤田 尚位、宇杉 武、羽馬 雅人

(3) その他

株式会社ウイング神姫 1名

ネクスト・モビリティ株式会社 1名

5 傍聴人の数

0人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

公開

7 会議資料の名称

(1) 次第

(2) 協議資料

(3) 運行エリア図

(4) ミーティングポイント一覧

(5) 別紙：コミュニティバスBルート休止関連

(6) 別紙：乗合タクシー火打岩線廃止関連

8 審議の概要

別紙のとおり

別紙

発言者	審議内容及び発言内容
野村会長	<p>■開会 1. 開会</p> <p>あいさつ</p> <p>2. 協議事項</p>
野村会長	<p>本日は、のる一と丹波篠山の運行開始とそれに伴う路線の休廃止に関して協議を行う。事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>それぞれ関連するものなので、まとめて説明させていただく。</p>
野村会長	<p>協議資料説明</p> <p>事務局の説明事項について、何かご意見、ご質問等あるか。</p>
北川委員	<p>利用には予約が必須ということか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
北川委員	<p>6日前から予約可能とのことだが、当日予約して当日利用することも可能か。</p>
事務局	<p>直前予約も可能である。アプリであれば24時間予約可能。電話予約の場合、コールセンターの受付時間があるため、例えば朝一で利用したいときなどは前日までに予約いただく必要がある場合もある。</p>
北川委員	<p>極端な話だが、10分後に乗りたいという予約も可能ということか。</p>
事務局	<p>リアルタイムで予約できるため、状況によっては可能である。</p>
北川委員	<p>予約のキャンセルは出来るのか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
北川委員	<p>もし、予約時間に間に合わなかった場合、バスは出発してしまうのか。</p>
事務局	<p>配車予定時間を過ぎるとバスは出発する。基本的には、遅れる場合は、一旦予約をキャンセルいただき、再度予約を取り直してもらおう形になる。</p>
北川委員	<p>乗車後に予約していた場所と違う場所で降りたいといったことは可能か。</p>
事務局	<p>それは出来ない。そのあたりは、タクシーなどとは違う乗り物だという風</p>

	に認識いただきたい。
北川委員	城下町エリアのミーティングポイントの制限について再度説明いただきたい。
事務局	城下町エリアの11番から15番のミーティングポイントについては、福住～篠山口駅を運行している路線バスがあり、その沿線から距離が近いところに位置している。これらについては、出来るだけ路線バスも利用いただきたいということで、福住線の運行している福住・日置エリアについては、バス路線に近いミーティングポイントでは乗降できないように制限をしている。
泉委員	運賃の支払いにニコパは使えないのか。
事務局	運行当初は現金決済のみを予定している。
泉委員	お年寄りやアプリやLINEよりも電話予約が多いと思う。また、電話も長くなりがちだと思うが、十分に電話予約を受けられるのか。
事務局	ご高齢の方は電話予約が多いということも想定している。ただ、高齢者でもLINEを利用する方も増えてきているので、LINE予約やアプリ予約といった方法も広めていけるようスマホ教室のような形で啓発していきたいと考えている。
事務局	高齢者大学やいきいき倶楽部などでも説明することも考えている。
森田委員	私たちでは十分に説明することも難しいので担当者の方が会合の方に出席して説明してもらえるか。
事務局	そのような機会があれば、ぜひ調整させていただき周知に努めたい。
酒井裕委員	村雲地区の有償運送はスタートして間もないが、今回縮小されるということについて地域への説明はできているのか。
事務局	今回の件については、地元自治会長会やまちづくり協議会にも説明してきている。
北川委員	「のるーと」について、既に全国展開されているということで、分かる範囲で結構なので、何か目立ったトラブルなどがあれば教えてほしい。
ネクストモビリティ	本システムはAIが予約状況に応じた最適なルートを生成するものであるが、AIの特性上学習を重ねるのに一定の時間を要する。運行当初は、時間計算が必ずしも適切でないような事例がある。
野村会長	全国的にオンデマンドバスの運行も増えてきている。トラブルなど何か気を付けたほうが良いことがあれば、木原委員からお聞かせいただけるか。
木原委員	色々なエリアでAIオンデマンドバスの導入が進んできている。エリアが

	<p>広いほど乗り合わせるための調整が必要となっている。またリアルタイムで予約を受け付けるということで、突然ルートが変わるということもあり得る。そういう乗り物だということを粘り強く周知しなくてははいけないし、利用者も承知したうえで利用する必要がある。</p> <p>また、私からも運行内容で質問しておきたいことが、2点ある。まず、運行台数は各エリア1台ずつか。次に相互乗り入れできる福住・日置、村雲・雲部の運行については、2台で柔軟に対応するのか、あくまでエリアごとの運行ということか。</p>
事務局	<p>車両台数については、ご認識のとおり、各エリア1台で運行予定である。福住・日置エリア、村雲・雲部エリアの運行については、大きなくくりで2台が運行するというものではなく、それぞれのエリアを1台が運行のうえ、相互に乗り入れもあるというものである。</p>
木原委員	<p>基本的に車両の融通はしないということで理解した。車両の融通があるのであれば、どの車両に乗ればよいのか、混乱する恐れがある。今回のケースでいうと福住・日置エリアの両端で予約があったときは、村雲・雲部エリアから車両を融通するのではなく、片方は予約をとれない可能性があるということか。</p>
ネクストモビリティ	<p>まず、どの車両に乗ればよいかという点については、予約の段階で何号車が配車されるかを伝えられる。それを認識していただければ、乗り間違いはないと考える。次にエリアの両端、乗り合えないレベルの距離で予約が発生した場合は、最初の予約が優先される。2人目の方には最初のお客様を降ろした次の時間が案内される。例えば10時に予約が重なった場合、後の方には11時に車両が参りますというような案内となる。</p>
野村会長	<p>利用登録はどのような方法、場所でされるのか。</p>
事務局	<p>アプリであればアプリ内で利用登録いただける。電話の場合は、コールセンターの方に連絡を入れていただき、氏名、連絡先等の登録情報をお伝えいただければ、オペレーターが利用登録を行う。</p>
野村会長	<p>わざわざ登録するのに市役所などに行く必要はないということか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
野村会長	<p>説明会のときに併せて登録の案内などもしていただければよいと思う。</p>
事務局	<p>そういったことも検討している。</p>
堀井委員	<p>城下町エリアのミーティングポイントに商業施設等があるが、店舗の近くまで車両を付けられるよう店舗側との調整はできているのか。</p>
事務局	<p>その方向で店舗側との調整も進めている。</p>
上田委員	<p>電話予約の登録が固定電話ではダメというのはどうしてか。</p>
事務局	<p>必ずしも固定電話がダメという訳ではないが、電話予約の方に車両の到着</p>

	<p>などをお知らせするのにショートメール（SMS）を利用する。そういう理由で出来る限り携帯電話での登録を推奨している。</p>
木原委員	<p>いくつか質問をさせていただく。ミーティングポイントで路線バスのバス停と被るところはあるか。また、ミーティングポイントの目印を私有地に設置するものもあるか。8～16時の運行時間となると途中ドライバーの休憩も必要と考えるが、そのあたりはどのようにするのか。</p>
事務局	<p>路線バスのバス停と兼ねるところは十数か所ある。道路交通法上の必要な手続きについては、今後、関係者調整のうえ行っていく予定である。施設内のミーティングポイントなど私有地に設置するものもある。そういうところについては、個別に設置の協力依頼を行っている。</p>
野村会長	<p>ドライバーの関係については、運行事業者の方から願います。</p>
田中委員	<p>休憩時間も考慮できるシステムと聞いているので、一人が長時間運転をすることはないと考えている。</p>
清瀬委員	<p>長時間運転とならないよう乗務員を複数配置する予定である。</p>
野村会長	<p>サインタワーやバリアポップは台風の時などは、危ないのではないかとと思うが、そういったときはどこかに退避されたりするのか。</p>
事務局	<p>水を入れると30数キロの重量があるため、ある程度の風では問題ないと考えている。対策が必要な場合は、設置施設などにも協力いただき、安全面には留意したい。</p>
酒井裕委員	<p>周知方法として高齢者大学などとおっしゃられたが、我々のような要支援者の担当をしているケアマネジャーなどに対しても説明を行っていただきたい。高齢者大学に来られる方は多くはまだ自動車の運転も行える方であるが、実際にこのようなサービスが必要になるのは要支援の認定を受けられているような方である。また、子供をお持ちの保護者など多世代にわたり周知を行っていく必要があると考える。</p>
事務局	<p>出来る限り幅広く周知できるように努めたい。</p>
野村会長	<p>幼児がひとりで乗車することも可能なのか。</p>
事務局	<p>今のところ幼児単独での利用というのは想定をしていない。</p>
酒井寛委員	<p>キャッシュレスというのが言われて久しい世の中で、決済手段が現金のみというのはいかがなのか。</p>
事務局	<p>運行当初は、高齢者の利用が多いと想定しており、キャッシュレスの需要もそこまで高くないと考えている。キャッシュレス導入については一定コストもかかるため、運行開始後、利用者へのアンケートを通じて必要に応じ導入を検討していきたいと考えている。</p>
野村会長	<p>回数券などはあるのか。</p>

事務局	現段階では、そこまでの検討ができていない。
野村会長	他にご意見、ご質問などあるか。
野村会長	それでは議案の承認をいただく。1号議案に承認の方は挙手をお願いします。 一同挙手
野村会長	2号議案に承認いただける方は挙手をお願いします。 一同挙手
野村会長	それでは、それぞれご承認いただけたということで、議事については以上とする。 3. その他
野村会長	次にその他として、今回東部エリアのデマンドについて協議したが西部エリアの検討状況について事務局から説明をお願いします。
事務局	西部については、エリア分けや運行しているバス路線との競合、通学利用のあるバス路線の調整、バス路線の見直しなども含め、課題も多く、関係者と協議を進めているところである。
野村会長	西部エリアについては、駅があつたり、人口も比較的多い地区になるので、慎重に検討いただくようお願いします。路線バスが利用しにくいエリアがある一方で、無理にデマンドに置き換えなくてもよいエリアもあると思われる。一番避けるシナリオとしては、デマンドを導入してもやはり路線バスの方がよかったとなってしまうこと。他の地域ではそのようなことも見られる。
野村会長	他にご意見などあるか。
田中委員	前回も同じようなことを申し上げたが、西部についてゴールありきで進めることのないよう留意いただきたい。
事務局	東部エリアの運行で色々課題も見えてくると思うので、十分調整のうえ、進めさせていただきたい。
野村会長	他にあるか。
木原委員	村雲地区の有償運送の区域縮小についても、他の路線の休廃止同様協議が調ったということでよいか。
事務局	はい。

野村会長	他にあるか。
泉委員	バスの利用はほとんどないのか。
事務局	篠山口駅への路線については、通勤通学利用で利用されている。また買い物などの利用もある。今田の路線についても市内高校の通学に利用しやすいよう見直しをしたことで、高校生の利用も増えている。福住線についても東雲高校への通学に利用されており、バスいっぱいに乗られている。それを多い少ないというのは感覚的なことになるので、何とも言えないが、通勤通学で使う路線バスと高齢者が通院買い物をするのに利用するデマンドバスとは、それぞれ利用形態、役割が異なるものと認識いただきたい。路線バスがあればいい、デマンドバスがあればいいというものではなく、両方でフォローしていくという視点が必要と考えている。
清瀬委員	様々な地域で、どうしてデマンドバスを入れてほしいという話になるかという高齢化が進むにつれ、バス停まで歩いていくのがしんどいという意見がどんどん増えていく。バス事業者としては、健康のためにも一定は歩くことを許容していただきたいが、なかなかそれが受け入れられず、タクシーに近い形態のデマンドバスというものを求められる方が多い。交通事業者も運転士不足など課題を抱える中、自治体が公共交通をどう考えるか見据えてデマンド交通などの導入がされていくが、デマンド交通も利用がされないと廃れていく。バスに限らず、たまには自家用車の利用を控えて公共交通を使っただけで、いつまでも公共交通というシステムを維持していただきたいと思う。
野村会長	公共交通計画にも記載しているが、コロナ渦以降バス利用者も増加しており、全く使われていないということはない。 谷筋の集落など路線バスへのアクセスが難しい地域もあるのは確かで、その辺をデマンドでカバーし、相互に補完しあえるとよい。
	<p>4. 閉会</p> <p>あいさつ</p>